

## 彩の国 学生演奏会 II

～ 音楽家を志す青少年によるコンサート ～

2015年4月3日 彩の国さいたま芸術劇場音楽ホール

12時40分開場／13時開演

### プログラム

#### 第一部

彩の国 Junior ENSEMBLE による演奏

1. レスピーギ作曲:「リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲」より Italiana と Sichiliana  
春の弦楽器セミナー受講生による演奏
2. バルトーク作曲: ルーマニア民俗舞曲より 1・5・6・7 番
3. モーツァルト作曲: 弦楽四重奏曲第2番 ニ長調 K.v.155 より第1,3楽章

#### 第二部

10名の若きソリストによる演奏

4. 平飛鳥:f・ザイツ作曲 協奏曲第5番作品22番第3楽章 ロンド
5. 及川悠介: サラサーテ作曲 カルメン幻想曲
6. 安田沙織: ヴィエニアフスキー作曲 華麗なるポロネーズ 1番 Op.4 ニ長調  
ヴィエニアフスキー作曲 スケルツォタランテラ
7. 田口夕莉: ヴァイオリン協奏曲ニ長調 作品35より第1楽章(一部省略)
8. 足立桃子: グラズノフ作曲: ヴァイオリン協奏曲イ短調 第1楽章
9. 中村優理子: サンサーンス作曲 アレグロアパッショナータ
10. 中村僚太: メンデルスゾーン作曲 ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64 第1楽章
11. 藤巻陽南: ラロ作曲 スペイン交響曲ニ短調作品21 第1楽章
12. 大塚みらい: パガニーニ作曲 ヴァイオリン協奏曲 第1番 ニ長調 より第1楽章
13. 大塚ゆきの: シベリウス作曲 ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47より第2,3楽章

#### 第三部

14. スペシャルゲストによる演奏

ヴァイオリニスト 小林 壱成

ピアノ 三又 瑛子

演奏曲: C・ドビュッシー作曲 ヴァイオリンソナタ ト短調、ほか

## 第一部

### 1. 彩の国 JuniorENSEMBLE による演奏

レスピーギ作曲:「リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲」より Italiana と Siciliana

Vn 1st 武田梨瑠、大塚ゆきの 2nd 大塚みらい、中村僚太 Va 渋谷朋花 Vc 西山健一先生



リーダー  
渋谷朋花

#### ～曲紹介～

『リュートのための古風な舞曲とアリア』はオットリーノ・レスピーギが作曲した3集の組曲。いずれも古いリュートの為の曲をオーケストラや弦楽合奏のために編曲したものです。本日は第3組曲から、いつかどこかで聴いたことのあるような懐かしさを感じるとても美しい旋律の【イタリアーナ】と第1ヴァイオリンの旋律がとても叙情的で優雅。CMやカバー曲などでも聴いた事のある方も多い【シチリアーナ】を演奏します。(渋谷 記)

#### ～お客様へのメッセージ～

「春のセミナー」と「ジュニアアンサンブル」に参加してから、たくさんの刺激をもらい技術も意識も高まり、そして同じように音楽を学んでいる仲間もできました。指導して下さる先生方には、やさしく熱心に教えて頂き、毎回学ぶことがたくさんありとても勉強になります。今日聴いて下さった方々が仲間になって下さるとさらに嬉しいです。(渋谷 記)

#### ～彩の国 JuniorENSEMBLE ご案内～

さくら Music office 埼玉事務局では、埼玉県から全国に弦楽器の素晴らしさを発信したい！埼玉県により多くの方にお出でいただき弦楽器を楽しく学んでほしい！との思いから、埼玉県にゆかりのある先生方を中心に「春の弦楽器セミナー」や「彩の国 String Competition」を開催しております。昨年4月より新企画として「彩の国 Junior ENSEMBLE」と題し、小学生から高校生を対象に弦楽器のアンサンブル勉強会を開講しました。弦楽器をお習いの方は日頃一人で譜面台と向かい合い孤独な練習になりがちです。彩の国 Junior ENSEMBLE にご参加頂くことにより、1人の練習では決して味わうことが出来ない仲間とともに奏でる音の醍醐味を実感し、たくさん語り合い、そして大いに笑い、視野を広げた日々の練習の励みになります事を望んでおります。欧米では幼少の頃から室内楽やオーケストラの一員として経験を積む・指導を受けられる体制が整い文化にも恵まれております。コンクールの成績に左右されない真の上達を目指す欧米型の経験をしてみませんか。アンサンブルを定期的に学ぶことにより、耳が育ち曲への理解や音楽性、音色などが深まるのだと私どもは考えております。皆さまの更なる飛躍の為にぜひご参加くださいますようご検討頂ければ幸いです。

### 春の弦楽器セミナー2015受講生による演奏

#### 2. バルトーク作曲: ルーマニア民俗舞曲より1・5・6・7番

Vn 1st 中元茉莉、藤巻陽南、中村僚太 2nd 大塚みらい、渋谷帆乃花、志村美帆 Va 大塚ゆきの、セミナー講師陣

#### 3. モーツァルト作曲: 弦楽四重奏曲第2番 ニ長調 K v.155 より第1,3楽章

Vn 1st 吉田薫子 2nd 山中里紗 Va 衛藤理子 Vc 西山健一先生

## 第二部 出演者紹介

①プログラムノート ②プロフィール ③お客さまへのメッセージ



#### 4. 平飛鳥 / Asuka Taira

演奏曲: f・ザイツ作曲 協奏曲第5番作品22番第3楽章 ロンド

(伴奏: 石黒唯久さん)

① f・ザイツ作曲(1848年)は、ドイツ・ロマン派の作曲家で、著名なヴァイオリニストでもありました。初心者用のヴァイオリン協奏曲の作者としてヴァイオリン学習者には有名ですが、一般にはあまり知られていない作曲家です。協奏曲第5番第3楽章は、三連符で重音が続く学生演奏曲です。

② 2歳からピアノとヴァイオリンを始める。現在、神尾梓先生に師事。第26回全日本ジュニアクラシック音楽コンクールキッズの部、審査員賞。彩の国 String Competition 2nd Section A 第1位。小学2年生。

③ 本日はご来場頂き誠にありがとうございます。楽しく、時に悲しく、そしておどけたようなザイツの協奏曲第5番第3楽章を表現できるよう精一杯弾かせ頂きます。



#### 5. 及川悠介 / Yusuke Oikawa

演奏曲: サラサーテ作曲 カルメン幻想曲

(伴奏: 米山多佳子先生)

① カルメン幻想曲はスペインの作曲家、サラサーテが1883年頃に書き上げた曲です。ビゼーのオペラ「カルメン」に登場する印象的なメロディからいくつかを選び12分程度に収めてあるので、非常に中身の濃い内容になっています。曲は5つの場面からなり、「ハバネラ」「セギディーリャ」など皆様も1度は聞いたことがあるであろう旋律が使われています。最後の場面ではかなり高度なテクニックを要求されながらも、次第にテンポを速め華々しく幕を閉じます。

② 6歳よりヴァイオリンを始める。今までに石澤清子、佐野貴昭、木野雅之、漆原朝子の各氏に師事。第15・16回日本演奏家コンクール入選。第23回日本クラシック音楽コンクール第5位。第7回国際ジュニア音楽コンクール第1位。第8回横浜国際音楽コンクール第1位。第2回デザインK国際音楽コンクール優秀賞。第2回彩の国String Competition第3位。今春より東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学。

③ 今日のご来場いただきありがとうございます。カルメン幻想曲にはヴァイオリンの技巧が数多く盛り込まれているので、弾くだけで精一杯な演奏になりがちですが、今日は技術だけでなくしっかりと歌い上げるとも考えて、1ランク上の演奏をしたいと思っております。



## 6. 安田沙織 / Saori Yasuda

演奏曲: ヴィエニアフスキー作曲 華麗なるポロネーズ 1番 Op.4 ニ長調

ヴィエニアフスキー作曲 スケルツォタランテラ

(伴奏: 阿久津絵美先生)

①『華麗なるポロネーズ』この曲はヘンリック・ヴィエニアフスキーが18歳の頃に作曲されました。「ポロネーズ」とは、フランス語で「ポーランド風」という意味です。テンポがゆっくりな4分の3拍子で、ポーランド起源のダンス、またはそのための舞曲のことをいいます。ニ長調で明るく楽しい雰囲気な曲です。『スケルツォ タランテラ』「タランテラ」というのは、イタリア・ナポリの舞曲のことです。「スケルツォ タランテラ」という曲名は、「タラント」という街の名前に由来していると言われてます。また毒グモのタランチュラに噛まれると毒によって苦しみ、踊り続けなければならないとも言われています。速いテンポで踊り続けている様子や中間部の甘いメロディでタラントの街の美しさが表現されているようです。ヴィエニアフスキー自身がヴァイオリニストであったこともあり、2曲とも重音やフラジオレットなど、華やかなヴァイオリンの技巧に彩られた曲となっています。

②3歳よりヴァイオリンを始める。柴香苗先生、漆原朝子先生の両氏に師事。第3回レガシィヴァイオリンコンクールジュニア部門銀賞、第4回同コンクール銅賞受賞。第7回国際ジュニア音楽コンクールE部門(中学生)3位受賞。第2回彩の国 String Competition D部門(中学生)2位受賞。今春より東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学。

③本日は、このような演奏会に出演させていたけることになり、大変うれしいです。ヴィエニアフスキーが曲にこらした工夫や美しいメロディを私自身楽しみながら演奏したいと思います。

## 7. 田口夕莉 / Yuri Taguchi

演奏曲: チャイコフスキー作曲: ヴァイオリン協奏曲ニ長調 作品35より第1楽章(一部省略)

(伴奏: 米山多佳子先生)



①チャイコフスキーがヴァイオリンと管弦楽のため協奏曲として1878年に作曲し、当時ロシアで最も有名なヴァイオリニストレオポルト・アウアーに送るが「演奏不可能」と初演を拒絶されました。しかし、ヴァイオリニストのアドルフ・ブロッキーが様々な機会にこの作品を探り上げたことで次第に理解されるようになり、アウアーも演奏するようになり、弟子のハイフェッツ、ジンパリストなどが名演奏を繰り広げることで4大ヴァイオリン協奏曲と呼ばれるようになりました。

②第4回レガシィヴァイオリンコンクール第1位・最高位。第12回日本演奏家コンクール第3位。第23回日本クラシックコンクール第5位。第65回・68回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第2回彩の国 String Competition 第1位。第1回 JASTA フレッシュコンサートソリスト。パソナ「夢オーケストラ」ソリスト。小籠郁子・野口千代光各氏に師事。現在、東京藝術大学音楽部附属音楽高等学校2年。

③チャイコフスキー独特の哀愁に満ちた旋律の美しさ、躍動感を味わいながらお世話になっている先生、お客様、演奏会に携わった方に感謝の気持ちを込めて演奏させていただきます。

## 8. 足立桃子 / Momoko Adachi

演奏曲: グラズノフ作曲: ヴァイオリン協奏曲イ短調 第1楽章

(伴奏: 鈴木結花さん)



①この曲はグラズノフの代表作の一つで1904年に作曲されました。ヴァイオリニストのレオポルト・アウアーに献呈され、初演もアウアーの演奏でされました。この曲の特徴は全体が間断なく連結され単一楽章のようになっていることです。カデンツァはグラズノフ自身の作曲で作品中で最大の難所になっています。

②6歳よりヴァイオリンを始める。小学4年生より相愛オーケストラに所属、2010年には中国公演に参加。現在大宮光陵高校音楽科3年生。これまで池川章子氏に師事。現在は浅井千裕氏、澤和樹氏に師事する。

③本日はご来場くださりまして、誠にありがとうございます。今日演奏する機会をいただいたこと、本当に嬉しく思います。聴いて下さる方の心に染み渡るような演奏にしたいと思います。

## 9. 中村優理子 / Yuriko Nakamura

演奏曲: サンサーンス作曲 アレグロアパッショナータ



①サンサーンスは1835年に生まれたフランスの作曲家。モーツァルトに並ぶほどの神童と称され、2歳でピアノを弾き、3歳で作曲したという逸話が残っている。この作品は1884年に作曲された。もとはオーケストラとのアンサンブルとして作曲されたが現在では殆ど独奏として演奏される。題名の通り、情熱的なアルペジオが左右の手で織り成され、素早い動きの中で華やかに歌われていく。

②3歳よりピアノを始める。ピティナピアノコンペティションにて、A2級、A1級において全国大会入賞。国際ジュニア音楽コンクールにてA部門第1位、B部門およびC部門において第2位を受賞。ヤングアーティストピアノコンクール協奏曲部門に入賞し、受賞者演奏会に出演。春の弦楽セミナー2014にチェロで参加。これまでに、ピアノを長島圭太、弓削田優子、黒田亜樹、西川秀人の各氏に師事。白百合学園中学校2年生。

③中学生になり、忙しい毎日を送っておりますが、今日の日のために頑張って練習してきました。サンサーンスは、弾いていてワクワクするほどとても華やかな曲です。私は手があまり大きくなくて和音が多いこの曲は大変でしたが、キラキラとして壮大なスケールを持ったこの曲の魅力を、お客様にお伝えできたら、嬉しいです。



## 10. 中村僚太 / Ryouta Nakamura

演奏曲:メンデルスゾーン作曲 ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64 第1楽章

(伴奏:齋藤順子先生)

①メンコンの愛称で親しまれているこのヴァイオリン協奏曲は、ベートーヴェン、ブラームス、チャイコフスキーと共に「4大ヴァイオリン協奏曲」とよばれています。メンデルスゾーンは、自分の音楽や楽譜に妥協を許さず完成度の高い作曲をする作曲家だったため、完成まで6年もかかったそうです。有名なこの曲の出だしのヴァイオリンの旋律は、一度聴いたら忘れられないような美しいメロディーです。再現部の前にカデンツァを配置したり、間をおかず3つの楽章を演奏させたりといった斬新な試みをしたこの曲は、全体の構成には無駄がなく、ヴァイオリンの魅惑的な音色と劇的な演奏効果が最大限に引き出された名曲です。

②3歳よりヴァイオリンを始める。野口千代光先生に師事。第3回国際ジュニア音楽コンクール ヴァイオリンA部門第1位。第22回日本クラシック音楽コンクール小学校低学年の部 第4位(1,2,3位なし)。2013年ハマのJACK金の卵オーディションにてJACK賞を受賞し、受賞者演奏会に出演。2014年同オーディションに合格し、N響メンバー中心の「ハマのJACKオーケストラ」とソリストとして共演。第27回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール小学生の部第1位を受賞し、披露演奏会に出演。彩の国 Junior ENSEMBLE メンバー。学習院初等科4年生。

③このメンデルスゾーンの協奏曲は、僕がとても小さい時からの憧れの曲で、絶対にいつか弾いてみたいとずっと思っていました。3楽章を勉強した後、先生に「1楽章を弾いてもいいよ」と言って頂き、嬉しくてたまりませんでした。でも、始めてみたら難しく、なかなか素敵に弾けずに苦労しましたが、誠心誠意、勉強しました。熱心に沢山の事を、特に心を込めて弾く大切さを教えて下さる千代光先生や、いつも応援して下さい下さる方々に感謝しながら、演奏したいです。



## 11. 藤巻陽南 / Hinami Fujimaki

演奏曲:ラロ作曲 スペイン交響曲ニ短調作品21 第1楽章

(伴奏:米山多佳子先生)

①エドゥアール・ラロ(1823-1892)はフランス北部リールに生まれた作曲家である。最初はヴァイオリンを、のちにはチェロも学び、主にその2つの楽器を中心とした室内楽曲の作曲を続けた。ラロがようやく注目を集めたのは、50歳を越えたところに書かれたこのスペイン交響曲であり、1875年2月7日にパリにてサラサーテの独奏により初演された。この作品はヴァイオリン協奏曲でありながら、交響曲を上回る華やかさをもっているという作曲者の考えから、あえて交響曲と命名され、楽章数も5つと多くなっている。

②3歳からピアノ、4歳からヴァイオリンを始める。小籠郁子氏に師事。彩の国 string competithin 2nd B部門第1位、第16回日本演奏家コンクール小学生高学年の部 奨励賞、第27回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 小学生高学年の部 奨励賞。都内私立小学校5年生。

③スペインの情熱的な雰囲気を出すのに悩みました。幼稚園のときから憧れていた曲なので、今回、このような場で弾かせていただけることを感謝致します。なかなか思うようには弾けませんが、一生懸命取り組みました。どうぞお聞き下さい。



## 12. 大塚みらい / Mirai Otsuka

演奏曲:パガニーニ作曲ヴァイオリン協奏曲第1番ニ長調より第1楽章(伴奏:阿久津絵美先生)

①作曲家ニコロ・パガニーニはヴァイオリニストとしてとても有名です。本来この曲は変ホ長調で書かれ、独奏ヴァイオリンのパートのみニ長調で書かれていました。調弦を半音上げるスコルダトゥーラを行い「楽譜どおり」演奏することにより、他の弦楽器よりも独奏ヴァイオリンの音色を輝かしいものにしていました。逆に通常の調弦では変ホ長調を演奏するのはニ長調より難しいので、パガニーニが故意に変ホ長調で楽譜を出版し自分があつかも変ホ長調を通常の調弦で演奏しているかのように装って技巧を誇張していたという説もあります。現在では管弦楽のパートも半音下げてニ長調の曲として演奏される機会が圧倒的に多いです。自分の曲が外部に知られるのを防ぐため、オーケストラ用スコアは演奏直前になってオーケストラに手渡し演奏後回収していたそうです。

②2歳よりヴァイオリンを始め、林智之、臼木麻弥氏両氏から学ぶ。現在、水野佐知香、吉川朝子両氏に師事。ジュラル・ブーレ氏来日時定期的に指導を受けている。東日本大震災復興プロジェクト「千の音色でつなぐ絆コンサート」ソリスト出演。フランス・パブロカザルス国際音楽アカデミー及びイタリア・ピエディルーコ国際音楽祭参加。第6回セシリア国際音楽コンクール第3位、第5回コンコルソムジカルエ金賞、第24回日本クラシック音楽コンクール第5位。日本イタリア協会ゴールデン・ガーラ・コンサート TOKYO2014出演。彩の国 Junior ENSEMBLE メンバー。東洋英和女学院中学部3年在学中。

③「悪魔に魂を売り渡した代償として手に入れたものだ」と噂されたと言われるほどの名ヴァイオリニストの作曲した曲だけあって超絶技巧のオンパレードで難しいのですが、頑張って歌うよう演奏したいと思います。よろしくお願ひします。



## 13. 大塚ゆきの / Yukino Otsuka

演奏曲:シベリウス作曲 ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47より第2,3楽章(伴奏:三又瑛子先生)

①フィンランドの作曲家ジャン・シベリウスは若いころヴァイオリニストを目指していたそうですが、極度の「あがり症」のため断念したと言われています。そんなシベリウスが作ったこの曲は、フィンランドの自然や風土の憂愁に包まれ心象風景を感じさせます。第二楽章は北欧の瞑想的な夏、涼しく静かに夜が更け満天の星空をイメージさせます。一転して、第三楽章は低音の原始的な舞曲リズムにのって、感動的な和声展開があり華やかな曲です。

②2歳よりヴァイオリンを始め、林智之、臼木麻弥氏両氏から学ぶ。現在、原田幸一郎、水野佐知香、神谷美千子各氏に師事。2011年よりジュラル・ブーレ氏来日時定期的に指導を受けている。2012年、東日本大震災復興支援プロジェクト「千の音色でつなぐ絆コンサート」ソリスト出演。2013年、フランス・パブロカザルス国際音楽アカデミー参加。2014年、セシリア国際音楽コンクール第1位及び審査員長賞受賞、イタリア・ピエディルーコ国際音楽祭参加、同音楽祭コンコルソにおいて第1位を受賞しスカラシップを得る。洗足学園ジュニア音楽コンクール グランプリ受賞。彩の国 Junior ENSEMBLE メンバー。桐朋学園大学音楽部ソリストディプロマコース及び東洋英和女学院高等部1年在学中。

③本日はご来場下さりありがとうございます。今年はシベリウス生誕150年という記念すべき年です。この時期にシベリウスのヴァイオリン協奏曲を学び今日演奏出来る事をとても嬉しく、また光栄に思います。素晴らしいヴァイオリン協奏曲を作曲したシベリウスに感謝と敬意の心を込めて演奏したいと思います。

## 第三部

### 14. スペシャルゲスト

ヴァイオリニスト 小林 壱成

演奏曲: C・ドビュッシー作曲 ヴァイオリンソナタ ト短調、ほか



Photo by S. Imura

### ヴァイオリニスト 小林 壱成 / Issey Kobayasi

東京藝術大学附属音楽高校を経て、東京藝術大学在学中。現在、清水高師、ピエール・アモイヤル両氏に師事。9歳よりN響篠崎史紀氏監督東京ジュニアオーケストラソサエティ所属。第63回全日本学生音楽コンクール全国大会第2位、ザルツブルグ＝モーツァルト国際室内楽コンクール2014第2位他上位入賞多数。2010より3年間ヤマハ音楽財団より音楽奨学金を取得。ザルツブルグ夏期国際アカデミー(オーストリア)等にて研鑽、マスタークラスにてザハール・ブロン、マキシム・ヴェンゲーロフらのレッスン受講。これまでにNYCカーネギーホール、イタリア世界遺産各地ほか、TV、音楽劇コンサート、ヴェンゲーロフ・フェスティヴァル2013/14、北九州国際音楽祭2013/14、Classic for Japan100万人のクラシックライブ、小林研一郎の年末ベートーヴェン全交響曲連続演奏会等出演多数。学内ではオーディション合格者による藝大室内楽定期演奏会に出演。2014にはマキシム・ヴェンゲーロフとバッハのドッペルコンチェルトを共演、イヴリー・ギトリス、篠崎史紀氏らと共演を重ねる。

### 小林 壱成さんからのメッセージ

この度はゲスト演奏の機会をいただき、心より御礼申し上げます。

今回弾かせていただきます Claude=Debussy(1862-1918)の生涯最後の作品ヴァイオリンソナタは、晩年の深く思い耽ったような、彼が強く影響を受けていたジャポニズムの人間の控えめで感情的な部分と、自然の光、水、影等、当時の絵画芸術の方向性でもあるいわゆる印象派の部分とを融合させ、簡潔にたった15分で表した晩年の傑作です。1楽章はリズムも和声進行も不明瞭な所が多く神秘的な雰囲気、2楽章は幻想的で軽快にとの表記通り、軽快さが全体を支配しながら幻想的な所が点在しています。3楽章はそれまでの雰囲気とは打って変わり、晴れやかな曲調で締めくくります。ドビュッシーの生涯感じたことを詰め込んだこの曲を、まだ若い私が、今できる最大限で表現したいと思います。そのほか1曲を予定しております。



### ピアノ 三又 瑛子 / Mimata Akiko

仙台市出身。4才よりピアノを始める。桐朋学園大学ピアノ科を首席で卒業。同大学卒業演奏会、室内楽演奏会に出演。第16回ABC新人コンサート、第78回読売新人演奏会に出演。これまでに、ピアノを庄司美知子、加藤伸佳、田崎悦子、室内楽を加藤知子、徳永二男の各氏に師事。桐朋学園大学弦楽部嘱託演奏員。石川ミュージックアカデミー、ミュージックアカデミー in みやぎ、などで公式伴奏者を務める。

本日はご来場賜り誠にありがとうございました。  
関係者一同厚く御礼申し上げます。

～ さくら *Music office* よりご案内 ～

彩の国 JuniorENSEMBLE メンバー募集中

\*\*\*\*\*

彩の国 Music FESTIVAL

2015年8月21日

さいたま芸術劇場音楽ホールにて開催

出演者募集中

※詳細は下記事務局までお問合せ下さい。

\*\*\*\*\*

彩の国 *String Competition* 3rd

一次予選 録音審査

二次予選 2016年1月4日

本選 2016年1月5日

彩の国さいたま芸術劇場にて開催

彩の国 JuniorENSEMBLE・春の弦楽器セミナー講師陣

林智之先生(NHK 交響楽団ヴァイオリン奏者)

野口千代光先生(東京芸術大学准教授・ヴァイオリニスト)

臼木麻弥先生(ヴァイオリスト)

西山健一先生(NHK 交響楽団チェロ奏者)

富沢由美先生(ヴァイオリニスト)

アナウンス:拓植みゆきさん

ステージマネージャー:小室明佳里さん

受付:小室晶代さん

会計:岩谷ノリ子さん

広報:松尾久美子さん

協力:ドルチェ音楽学園 / ビバ!おけいこヴァイオリン

協賛:日本宅建ホーム / 神田大塚法律事務所

企画:さくら *Music office*

さくら *Music office*

東京本局 〒106-0032 東京都港区六本木3-15-9 3F  
埼玉事務局 〒335-0022 埼玉県戸田市上戸田3-8-26-201  
HP:<http://www.sakuramusic.jp/> Eメール:[office@sakuramusic.jp](mailto:office@sakuramusic.jp)  
Tel:03-3224-9112